



**1952**

昭和27年 12月25日  
ラジオ本放送開始



**1955**

昭和30年 10月1日  
新潟大火  
本社・スタジオを焼失



**1956**

昭和31年  
本社スタジオ竣工式



**1958**

昭和33年 12月25日  
テレビ本放送開始



**1961**

昭和36年 3月1日  
社名変更  
ラジオ新潟から「新潟放送」に

**1964**

昭和39年 6月6日 新潟国体  
昭和39年 6月16日 新潟地震発生



**1971**

昭和46年 4月  
ラジオ「ミュージックポスト」放送開始



**1977**

昭和52年 4月4日  
テレビ「BSNニュースワイド」  
放送開始

**1982**

昭和57年 5月17日  
「BSN愛の募金」常設発足

**1984**

昭和59年 4月7日  
テレビ「土曜はヨイショ!」  
放送開始



**2002**

平成14年 9月  
キッズプロジェクト始動

にいがた  
キッズプロジェクト

**2011**

平成23年 4月27日  
テレビ「BSN水曜見ナビ」  
放送開始



**2016**

平成28年 3月28日  
テレビ「BSN NEWS ゆうなび」  
放送開始



# 65年のありがとう



時代は移り変わっても、BSNの熱い思いは変わりません。  
“もっと愛される放送局に”、  
そして“常に挑戦し続ける放送局へ”。

## 第88期 事業のご報告

2017.4.1 → 2018.3.31



## 株主の皆様へ



平素は当事業につき格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに当社第88期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業の概況をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては、当期は会社創立65周年にあたりますので、1株につき3円75銭の普通配当に記念配当として1株につき1円25銭を加え、合計5円とさせていただきます。これによりまして、当期の配当金は、中間配当と合わせて1株につき10円となります。

株主の皆様には置かれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月  
代表取締役社長  
佐藤 隆夫

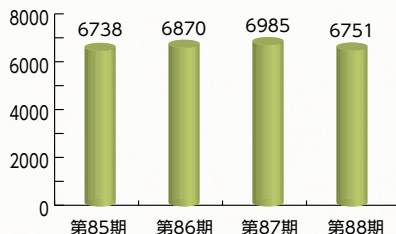
## 事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、企業業績が順調に推移し、雇用情勢の改善が続くなど国内景気は緩やかな回復基調を見せました。その一方で、国際情勢の不安定化や、米国株式市場の下落に端を発した円高の進行などが企業業績を悪化させるなど、先行きの不透明感は払拭されないままとなっています。

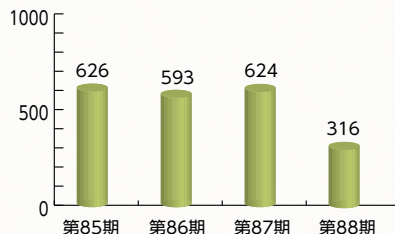
こうしたなか、当社は創立65周年記念の大型番組やイベントを企画、制作しましたが、広告市況が振るわず、売上の柱となるテレビスポット広告が前期を下回るなど、収入面、利益面とも厳しい結果となりました。

この結果、当期の営業収益は67億5千1百万円と、前期に比べ3.4%の減収となりました。利益面では全社を挙げてコスト削減に努めましたが、経常利益は3億1千6百万円と前期に比べ49.4%の減益、最終的な当期純利益では2億7千9百万円と、前期に比べ42.6%の減益となりました。

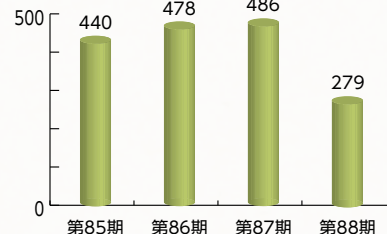
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



## ラジオ部門

当期におけるラジオ収入は、前期比 1.3%増の7億5千4百万円となりました。新たな番組開発を行い、レギュラータイムが増収となり、スポット収入が減少したものの、開局 65 周年事業に伴う番組企画などの実施で成果を上げ、全体としては増収となりました。

番組編成では、既存の番組の内容充実をはかるとともに聴取ターゲットを考慮した新番組を立ち上げました。このうち、レギュラー番組「近藤丈靖の独占ごきげんアワー」は番組スタート時刻を早め、朝のドライバーゾーンに最新ニュースを伝える態勢を整えました。当期はリスナーと直接触れ合える公開放送を増やしました。「ニイガタぞっこんフェスタ」を朱鷺メッセで、「BSN ラジオ 65 周年ファイナル特番&コンサート」を新潟テルサなどで開催し、人気タレントをゲストに招き、多くの来場者と盛り上がりました。



BSN夏ラジオ（7月）



BSNラジオ65周年ファイナル特番（12月）



石塚かおりのゆうわく伝説 公開放送（佐渡汽船）





## テレビ部門

当期におけるテレビ収入は、前期比4.8%減の50億6千8百万円となり、2億5千7百万円の減収となりました。これは、収益の柱となるスポット収入が伸び悩んだことが大きな要因です。

番組制作面では、7年目を迎えたゴールデンタイムのレギュラー番組「水曜見ナイト」で、新潟出身のタレントなども起用し、より楽しく番組をお届けできるよう努めました。また、長岡花火、柏崎花火の生中継に加え、片貝花火も盛り込んだ越後三大花火の特集を実施しました。年間の平均視聴率は11%で、キー局の番組と遜色ない数字を残しました。特別番組としては、BSN創立65周年特別番組として「ドナルド・キーン95歳心の旅」を企画し、2時間のドキュメンタリー番組を県内と全国（BS-TBS）で、放送しました。

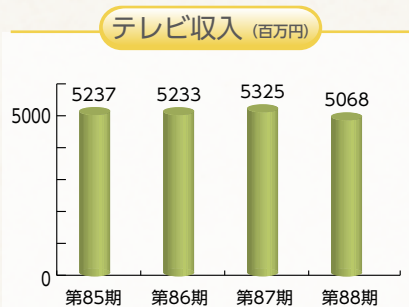
報道関係では、平日夕方のローカルニュース「BSN NEWS ゆうなび」が2年目を迎え、一層の定着を目指しました。県内の特定の市町村をピックアップして、地場産業や観光名所を紹介する企画「ニイガタぞっこんウィーク」をスタート。新潟の放送局として、地元の魅力再発見にも努めています。



水曜見ナイト「柏崎花火 生中継」(7月)



BSN創立65周年特別番組「ドナルド・キーン95歳 心の旅」(11月)



ゆうなびスペシャル 糸魚川大火1年 (12月)

## その他の部門

当期におけるその他の部門の収入は、前期比 1.5% 増の 9 億 2 千 7 百万円となりました。

当期は、新潟放送創立 65 周年の記念事業として大型イベントを開催、そして海外への番組販売などコンテンツの海外放送事業にも取り組み、多角的な営業展開を図りました。

65 周年記念事業では、「広重ビビット」、「漢字三千年展」をそれぞれ開催し好評を博しました。10 月にはメインイベントとなる「BSN にいがたぞっこんフェスタ」を 2 日間に渡って開催、およそ 1 万 7 千人の来場客でにぎわいました。

東京オリンピックから新たな正式種目となるスケートボードの全国大会と体験会、NGT48 など人気タレントのステージなど様々な催しを展開し、ラジオとテレビの生放送で発信しました。また、夏休み恒例の親子向けビッグイベント「大トリックアート展 in ときメッセ」を開催し、4 万人余りが入場しました。このほか、「BSN スケートフェスティバル」など BSN の冠がついたスポーツ大会を数多く開催し、新潟県のスポーツ振興に貢献しました。



創立65周年ニガタぞっこんフェスタ  
(朱鷺メッセ)



65周年  
パネル展も開催  
(朱鷺メッセ)

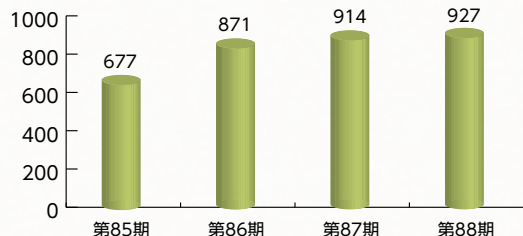


広重ビビット  
(新潟市美術館)



大トリック  
アート展  
(朱鷺メッセ)

その他の収入 (百万円)





## 対処すべき課題

当社グループの活動の中心である放送業界をめぐる状況は、通信技術の急激な進歩により大きく変化しています。特に、インターネットの普及拡大は放送と通信の垣根を取り払い、テレビ放送の同時配信が間近に迫っています。

広告媒体として、ラジオ・テレビ放送を収益源としてきた当社にとっても大きな変革が迫られています。放送事業を基盤としながらも収入多角化に向け、様々なビジネスチャンスを探っています。昨年、責任の明確化を図るため、3本部制（経営管理本部・放送本部・営業本部）としました。更に今年4月からは、自由に動ける改革のエンジンとなるように「経営戦略室」を立ち上げ、新たな収入となる新規事業の開拓に取り組みます。

昭和 27 年（1952 年）、新潟放送は、RNK＝ラジオ新潟として発足し、65 周年を迎えました。ローカル放送局の生き残りには、地域に密着した良い番組を作り続けることがカギを握ります。今まで以上に独自性を高めてローカル放送の存在意義を示していかなければなりません。今後も「地域に必要とされる放送局」であり続けるために、地域社会のために尽力してまいります。

## VR（バーチャルリアリティ）映像事業スタート！



**「VR NIIGATA」はBSNの360度動画アプリ**

新潟ならではの360度映像コンテンツを全世界へ提供します。



Android用

iPhone/iPad用

**VRNIIGATA**

**検索**





## 財務諸表

## ■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当期末		前期末	
	平成30年3月31日	平成29年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
(資産の部)				
流動資産	11,557,040	11,008,469		
固定資産	12,275,155	12,131,217		
有形固定資産	7,147,702	7,150,873		
無形固定資産	173,843	292,294		
投資その他の資産	4,953,609	4,688,049		
資産合計	23,832,196	23,139,687		
(負債の部)				
流動負債	4,831,169	4,840,718		
固定負債	1,645,699	1,749,861		
負債合計	6,476,869	6,590,580		
(純資産の部)				
株主資本	14,854,778	14,388,045		
資本金	300,000	300,000		
資本剰余金	5,750	5,750		
利益剰余金	14,549,690	14,082,849		
自己株式	△663	△554		
その他の包括利益累計額	731,550	505,382		
非支配株主持分	1,768,998	1,655,679		
純資産合計	17,355,327	16,549,107		
負債・純資産合計	23,832,196	23,139,687		

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当 期		前 期	
	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,002	1,816		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127	△598		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△934	△894		
現金及び現金同等物の増加額	940	323		
現金及び現金同等物の期首残高	4,692	4,368		
現金及び現金同等物の期末残高	5,632	4,692		

## ■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当 期		前 期	
	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	20,629,020	22,027,175		
売上原価	15,134,134	16,343,264		
売上総利益	5,494,886	5,683,910		
販売費及び一般管理費	4,694,765	4,580,157		
営業利益	800,120	1,103,753		
営業外収益	110,513	84,662		
営業外費用	40,075	26,749		
経常利益	870,557	1,161,666		
特別利益	50,104	10,663		
特別損失	2,938	12,932		
税金等調整前当期純利益	917,724	1,159,397		
法人税、住民税および事業税	264,994	205,151		
法人税等調整額	2,686	126,078		
当期純利益	650,042	828,166		
非支配株主に帰属する当期純利益	123,209	113,522		
親会社株式に帰属する当期純利益	526,833	714,643		

## ■ 個別 ハイライト ■

(単位：百万円)

科 目	当期末		前期末	
	平成30年3月31日	平成29年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
総資産	13,116	12,858		
純資産	11,611	11,300		

科 目	当 期		前 期	
	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	6,751	6,985		
営業利益	226	536		
経常利益	316	624		
当期純利益	279	486		



### ■ 重要な子会社の状況 ■

会社名	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株) BSN ウェーブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
(株) BSN アイネット	200	65.5	情報処理サービス及び電算機器の販売
(株) ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売、及びシステム建設並びに保守
(株) IT スクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援及び情報システム導入調達支援

### BSN グループ (◇は連結対象子会社)

(株)新潟放送

◇(株) BSN ウェーブ

◇(株) BSN アイネット

◇(株) ビーアイテック

◇(株) IT スクエア

(株) エム・エス・シー

龍越ソフト(株)

(株) エヌ・ティ・エス

(株) 日本ファシリティ

(株) グローバルネットコア

## 株式の概況 (平成30年3月31日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株  
(自己株式 958 株を含む)
- ◆ 株主数 1,176 名

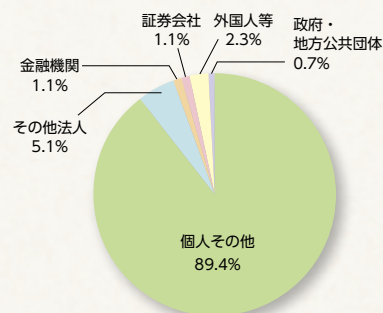
### ◆ 大株主 (上位 10 名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.7 %
越後交通株式会社	579,050	9.6
(株)東京放送ホールディングス	485,000	8.0
株式会社第四銀行	299,600	4.9
第四リース株式会社	204,000	3.4
蒲生 逸 郎	133,000	2.2
損害保険ジャパン日本興亜(株)	132,000	2.2
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.7
株式会社北越銀行	105,000	1.7

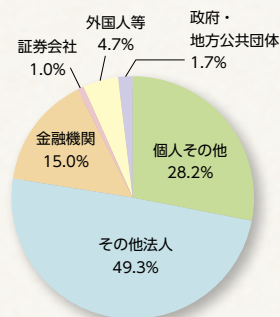
※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株式の分布状況 (平成30年3月31日現在)

### 所有者別



### 所有者株数別





## 会社の沿革 (平成30年3月31日現在)

昭和27年10月14日	会社創立「株式会社ラジオ新潟」 (資本金5,000万円)
12月25日	ラジオ本放送開始
29年 5月 1日	増資2,000万円 (ラジオ設備資金) 資本金7,000万円
33年 2月17日	増資1,400万円 (株式配当) 資本金8,400万円
3月25日	増資11,600万円 (テレビ設備資金) 資本金20,000万円
12月25日	アナログテレビ本放送開始
36年 3月 1日	商号「株式会社ラジオ新潟」を 「株式会社新潟放送」に変更
38年 9月 2日	増資10,000万円 (BSN産業会館設備資金) 資本金 3 億円
39年10月 1日	テレビジョンカラー放送開始
44年 4月15日	東京店頭売買銘柄に登録
49年 8月30日	決算期を毎年3月31日とする 年1回決算に変更
平成 5年 8月20日	500円額面株式1株を50円額面 株式10株に分割し、1単位の株式 数を100株から1,000株に変更
11年 8月 2日	1単位の株式数を1,000株から 100株に変更
13年10月 1日	1単位の株式数100株を1単位の 株式数100株に変更
16年12月13日	ジャスダック証券取引所(現 東京証 券取引所ジャスダック市場)に変更
18年 4月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
23年 7月24日	テレビのアナログ放送終了し、 デジタル放送に完全移行
27年11月 1日	ラジオFM補完放送開始

## 役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役会長	竹石松次
代表取締役社長	佐藤隆夫
常務取締役	島田好久
取締役	大竹正敏
取締役	金田博幸
取締役	小林強
取締役	小原弘志
取締役	梅津雅之
取締役	小田敏三
取締役	並木富士雄
取締役	龍宝正峰
監査役	五十嵐幹史
監査役	高橋道映
監査役	中山輝也
監査役	瀬賀弥平
顧問	田中真紀子
特別顧問	牧野庄三





## 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会** 毎年6月
- 剰余金の配当** 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 中間配当** 取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 株式名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 単元株数** 100株
- 公告掲載新聞** 新潟日報

### ◆お取扱窓口

#### 証券会社等に口座をお持ちの場合

住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

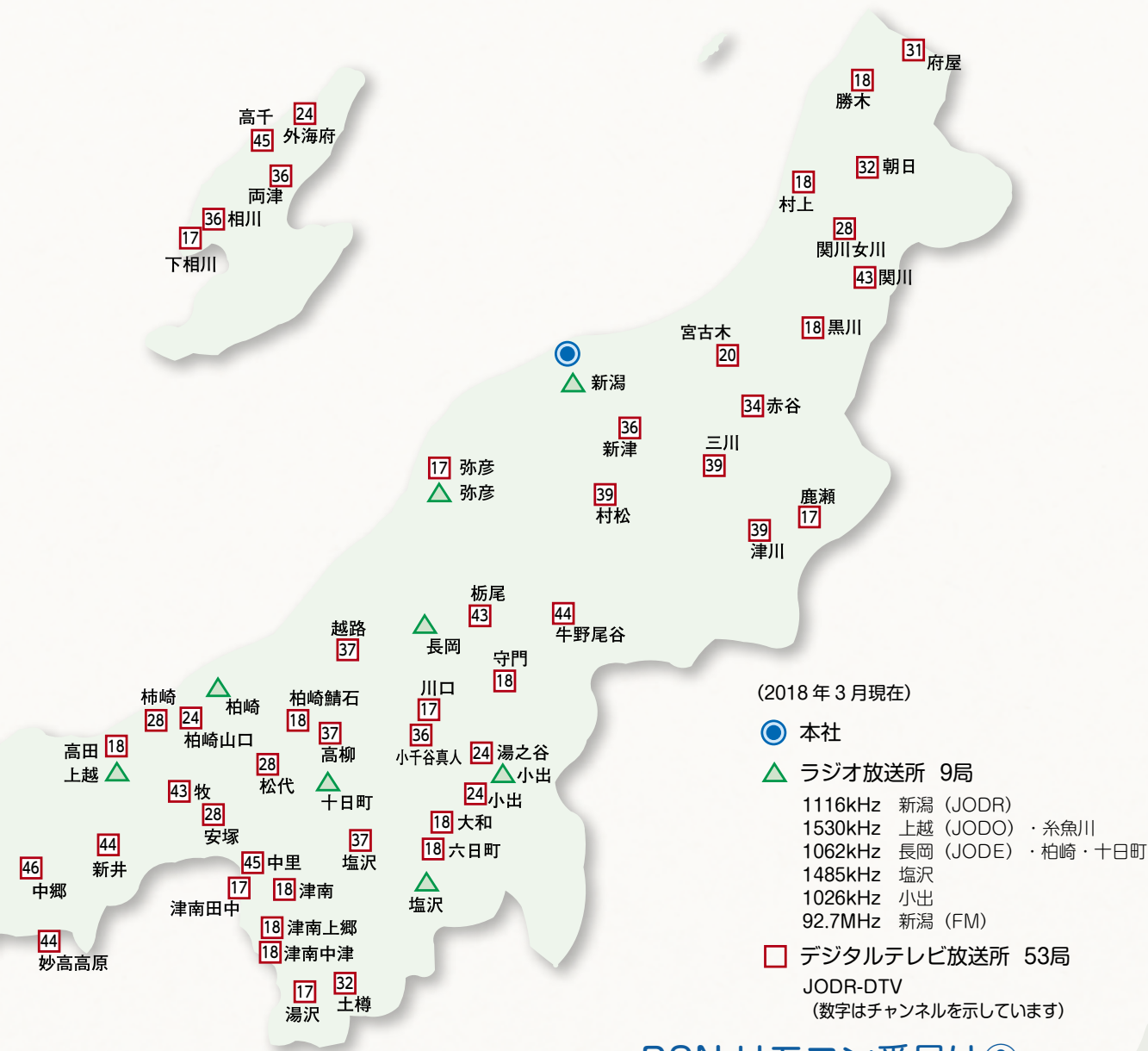
#### 証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）

下記のお取扱店にてお取次ぎいたします。

- ◆お取扱店** みずほ証券 本店、全国各支店  
みずほ信託銀行 本店、全国各支店
- ◆お問合せ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4  
みずほ信託銀行証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324

BSN ラジオ・テレビ





BSN リモコン番号は⑥



# BSN



## ■ 本 社

〒951-8655  
新潟市中央区川岸町3-18  
tel 025(267)4111

## ■ 事業局

〒950-8448  
新潟市中央区万代3-1-1  
メディアシップ  
(事業部) tel 025(290)7844

## ■ 長岡支社

〒940-0082  
長岡市千歳1-3-43  
メディアぶらっと  
tel 0258(35)7531

## ■ 上越支社

〒943-0831  
上越市仲町4-3-19  
マルケーバスビル  
tel 025(524)2115

## ■ 東京支社

〒104-0061  
東京都中央区銀座5-15-1  
南海東京ビル  
tel 03(3543)5001

## ■ 大阪支社

〒550-0002  
大阪市西区江戸堀1-9-1  
肥後橋センタービル  
tel 06(6443)2700